※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3034 |
|---|---|

# 令和５年度　探究

| 教科 | 探究 | 科目 | （学）IBARAMA Ⅰ | 単位数 | １単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 課題研究メソッド　よりよい探究活動のために　2nd Edition<br>高等学校 情報Ⅰ | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学問とはなんでしょう。広辞苑によると，“一定の理論に基づいて体系化された知識と方法”とあります。つまり知識を蓄えることが学問なのではなく，それを深めていく方法，探究し広げていくことこそ学問なのです。本校の学校設定教科「探究」では，本当の“学問をする”ことについて，順序立てて学び，実践していきます。

具体的には，課題発見および解決に必要な知識および技能を身に付けるところから，自ら課題を設定し解決していく課題研究までの探究活動を段階的に学び，実践していきます。よって，どれだけ知識を蓄えられるか，だけでなくどれだけ身に付けた力を活用し，実践できるかが重要となってきます。

また，この探究活動は，形式的に分類された教科・科目ではなく，全ての分野に共通して必要となるものです。入試に必要…試験で…という表層的な動機にとらわれることなく，今後の人生で続くであろう“学問をする”礎を築くものと考えてください。

## ２　学習の到達目標

・研究するにあたっての基礎知識や手法を学ぶ。
・国際社会の課題を知り，実社会の問題に向き合う。ディベートを通して，俯瞰して考える力を身に付ける。
・テーマを深め仮説を立てることにより，適切に探究課題を設定し，検証することができる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・ 情報モラルや著作権，また調査方法等，探究に必要な基礎的な素養を身につけ，その知識を用い，活用できているか。 | ・ リサーチクエスチョンや研究テーマの設定やその課題解決のプロセスを通して，複眼的・俯瞰的な視点を持って，納得解，最適解を導けているか。<br>・ 設定した課題に関して，論理的な考察ができているか。 | ・ 興味関心を持って意欲的に学習しているか。<br>・ 自ら設定した研究課題に，主体的に取り組んでいるか。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1年前期 | 探究の基礎学習(情報モラル・著作権) | 探究に向けての基礎的学習<br>・論文の引用等，情報モラルの育成および事例研究を行う。<br>・情報モラルに関する様々な事象を元に，班でディスカッションを行う。<br>・著作権に関する内容を調査し，内容をまとめ発表を行う。 | a：情報モラルや著作権について整理・分析ができている。<br>b：情報モラルや著作権について論理的な考察ができている。<br>c：活動状況や発表について，意見交換を活発にできている。 | ワークシート | パフォーマンス課題 | 授業観察<br>ワークシート |
| | 探究の基礎学習(文章・発表) | 探究に向けての基礎的学習<br>・文章作成についての学習をする。<br>・パワーポイントの作成練習を行い，発表・相互評価することにより，プレゼンテーション能力を育成する。 | a：文章作成や発表方法について整理・分析ができている。<br>b：文章作成や発表方法について論理的な考察ができている。<br>c：活動状況や発表について，意見交換を活発にできている。 | ワークシート | パフォーマンス課題 | 授業観察<br>ワークシート |
| | 探究の基礎学習(ディスカッション) | テーマ別ディスカッション<br>・テーマを選択し，そのテーマについての本を読む<br>・本の内容について，テーマごとに班をつくりディスカッションを行うことにより，論理的・批判的・複眼的・俯瞰的思考力を鍛える。 | b：論理的・批判的・複眼的・俯瞰的な思考ができている。<br>b：最適解・納得解を導けている。 | | パフォーマンス評価 | |
| 1年後期 | 国際社会調査学習 | 国際社会の諸問題についてテーマを設定し，文献調査およびまとめ，発表を行う。 | b：調査内容から，課題を見出すことはできている。<br>b：論理的・批判的な思考ができている。 | | レポート<br>パフォーマンス評価 | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 自然科学探究基礎活動 | 探究プロセスとして，考えるための技法「比較」「分類」「関連付け」について学ぶ。<br>データ分析とその手法を学び，実践を通して修得する。<br>科学において科目横断的視点を知ることにより，多角的な視点を学ぶ。 | b：探究プロセスの考えるための技法について内容を整理・分析ができているか。<br>c：興味関心を持って意欲的に学習できているか。 | | ワークシート | 活動状況の観察 |
| | | 仮説を立て，探究の問いを立てる練習を行い，問いとして適切か討論を行う。<br>班に分かれ，地球科学をテーマに研究課題を決めるための議論，情報交換を行う。 | a：仮説の立て方を理解できている。<br>b：主体的に討論や用法交換について取り組み，実践できている。<br>c：積極的に議論に参加できている。 | ワークシート | ワークシート | 活動状況の観察 |
| | | テーマについての先行研究の調査を行い，班ごとに議論を行う。<br>研究課題を決定する。<br>実験・解析・フィールドワーク等，各テーマに沿って実施。 | a：内容をより深めた上で，問いを立てられている。<br>b：主体的に討論や用法交換について取り組み，実践できている。<br>c：積極的に議論に参加できている。 | ワークシート | ワークシート | 活動状況の観察 |
| | | 研究のまとめを行う。<br>クラス内でポスター作成およびポスターセッションを実施する。 | b：多角的に分析され分かりやすく表現できている。<br>b:論理的な展開ができているか。<br>b：着眼点が優れている。<br>c：発表についての意見交換を活発にできている。 | | 作成物 | パフォーマンス評価 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度